

MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2015年2月号 ハッピーって？



発行人:濱塚有史 編集人:家村知佳 発行所:特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>



「共に成長」

昆 由理絵 (盛岡YMCAリーダー:ゆりぼー)

17歳の誕生日に、友人からのお祝いのメールで、十代でいるのも残り3年ということに気づかされました。学生のうちに思いっきり活動したい。そんな想いをぼんやりと感じ、何をしようかぼんやりと考えていたとき、知人である内丸教会の中原牧師がYMCAの関係者であるというご縁で、盛岡YMCAを知りました。それがきっかけで、高校二年生の夏から、主に本町校の学童保育で、「ゆりぼーリーダー」としてボランティアに参加することになったのです。今回はその学童で一番印象に残っている出来事について語ろうと思います。

冬のある日、学校の期末考査が終了し、私はこれから事件が起こるとは全く予想していないような晴れ晴れとした顔で学童へ訪れました。その頃、月に一日来るか来ないかの私は、子ども達にとって珍しい存在だったようです(今も、なのですが)。そのせいか男の子は興奮し、私だけでなく関係のない周囲の子にまでボールを投げるようになり、ヒートアップしてしまいました。むやみに物を投げて怪我をさせてはいけなないと考えながらも、混乱した私は、普段とは違う声音で怒鳴りました。怒り慣れていない私は、「やってしまった」という罪悪感をなぜか感じ、泣きそうになり、コート無し、所持品無しのまま思わず外へ飛び出し、市内を放浪してしまいました。中津川付近で子どもとほほえましく遊ぶ大人を眺めながら、「あんな風になりたいよ!」と心の中で叫んだ

のです。

翌日、携帯に見知らぬ電話番号が。恐る恐る出てみると、なんとSリーダーからでした。先日のことについてわざわざ心配してくださったようです。私は申し訳ないと思ったのと同時に、嬉しい気持ちが湧きました。

数日後、子ども達は何事も無かったかのような反応で安心したのですが、先輩リーダーによると本当は気にしてくれていたようです。ここでも私は申し訳ない気持ちが半分、ありがたい気持ちも半分になりました。このことは、私も皆も成長できた出来事なのではないかと一人で勝手に考えています。

昨年の4月からは受験生という立場になり、学業の方を優先させていただいて、学童には全く来れなかったのですが、12月に盛岡大学へ進学することが無事決定しました。これからも皆さんと一緒にいられることを嬉しく思います。皆と遊び、学び、触れ合うことのできるこの盛岡YMCAで、再び一緒に成長できることを願っています。



☆ハッピーって?☆

2014年12月26日から12月29日まで、盛岡YMCAでは、エンジョイスキーキャンプ（3泊4日）・ジュニアスキーキャンプ（2泊3日）を行いました。今回のスキーキャンプでは、「ハッピー」を合言葉に、参加した全員がハッピーな気持ちを持ち帰ることができるようなキャンプを目指し、スタッフ・リーダー一同取り組んで参りました。

今回のキャンプを盛り上げたリーダーのひとりである武田悠さん（ゴリナリーダー）に、キャンプの様子について伺いました。

こんにちは！この度、2014年12月26日から12月29日にエンジョイ・ジュニアスキーキャンプが行われました。エンジョイとジュニア、合わせて44名、リーダーが10名の総勢54名での楽しいキャンプとなりました。

1日目は、朝から元気にバスでクイズをしたり、歌ったりと楽しくワイワイしながら八幡平リゾートスキー場へ。到着してからも「早くスキーへ行きたい!!」そんな声がすでに飛び交っていました。スキーレッスンでは天候はそれほどよくありませんでしたが、久しぶりのスキー、初めてのスキーを子供たちは満喫しているようでした。その後はお風呂へ！汗を流し、露天風呂では、つららを見つけ溶かしてみたり、おでこにあててみたりと、ホッと一息な時間を過ごし、バイキングへ。「お肉がやばい…おいしい…」と幸せそうに食べている子がたくさんいました。夜はみんなでナイトプログラム！『〇〇なリーダーはだ〜れだ?』クイズを行いました。腹筋が一番早いリーダーは？はたまた、早口言葉がきれいに言えるリーダーは？などの問題に子供たちは予想し、リーダーは体を張り張りしました。

2日目は、朝の集いで今日のハッピーなグループはどこかをスリッパリレーで競いました。1位だったグループにはなんと!!その日1日ハッピーである証にハッピーカードと、ハッピーフラッグが贈呈されました。1位のグループは大喜び！負けたグループの子たちは明日のゲームは負けないぞと張り切っている子の姿も見られました。そうして、2日目のスキーレッスンが行われました。ジュニアスキーキャンプの子供たちも合流し、更ににぎやかなキャンプになりそうな予感が。また、この日誕生日だった子がおり、皆で色紙を渡したり、歌ってお祝いしたり、お部屋でサプライズをしているところも。とてもハッピーな1日になりました。

3日目。この日も、ハッピー選手権が行われました。内容はジェスチャーゲーム。グループ事に、必死に大きな声で答え合っていました。スキーでは、天候もよくなり、頂上へいくグループも。頂上から

の景色はととてもきれいで、叫んだり、歌ったりと、気持ちのいいスキー日和になりました。また、ハッピーポーズで滑っていたりと、とても楽しい時間となりました。夜は、もちろんナイトプログラム。今回はスタンツ大会を行いました。各グループで出し物を考え発表しました。劇をするグループ、ものまねを披露するグループ、クイズを出すグループなど個性豊かな、面白い発表をしてくれました。

いよいよ4日目。最終日も、ハッピー選手権を行いました。輪になり歌を歌い、今回は全員がハッピーカードを手に入れることができました。この日はワッペンテストということもあり、ハッピーカードを大事そうにスキーウェアのリフト券入れに入れる子も。ワッペンテストでは、応援し合いながら滑っていたり、楽しみながら、気持ちよく滑っていたりと、さまざまにこれまでの練習の成果を発揮していました。

この4日間、または3日間は、とても密度の濃い時間となったのではないかと思います。参加した54名がみんなで作り上げた、とてもハッピーなキャンプになりました。たくさんのお会い、遊び、学び、気づき、などなど、詰まりに詰まった素敵なキャンプでした。みんなの中での、ハッピーポーズ、ハッピーの合言葉はキャンプ中の楽しかったこと、嬉しかったこと、悔しかったことなど、様々な思い出を、思い起こしてくれると思います。これからもたくさんのハッピーをみんなでまた作っていただけることを心から楽しみにしています。4日間ありがとうございました。またキャンプに行きたい!!またみんなとキャンプに行きたい!!心から願うゴリナからお伝えしました。

岩手大学教育学部3年
武田 悠（ゴリナリーダー）



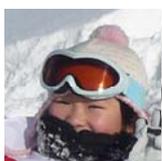
← ↑
雪の上をめいっぱい楽しみました♪

↑ 朝のつどいにて、ハッピーフラッグをゲット！ハッピーなチームの証です！

スキーキャンプ☆インタビュー!!

スキーキャンプに参加してくれた子どもたちや、キャンプを支えてくれたリーダーたちに、突撃インタビューしてみました！

みんなのステキな感想を聞くことができました♪



あきほ
船木 陽帆
パラレルが上手にできた！



えがお
小野寺 笑緒
ご飯がおいしかった！



阿部 実結
パラレルができてよかったです！



さとこ
瀬川 都子
全部楽しかった！



山崎 詩織
いっぱいスキー滑れるし、おもしろい人がたくさんいてスキーキャンプは楽しい！来年も行きたい！



船木 陽向
ターンの時、片足で滑れるようになった！



向平 悟 (ジーパンリーダー)
 ハッピーなメンバーとハッピーなキャンプに行けて2014年のラストはとってもハッピーでした。



小野寺 百恵 (つぶ貝リーダー)
 みんなとスキーをしたり、ご飯を食べたり、お風呂に入ったり、たくさん一緒に笑った楽しいキャンプでした。



東海林 俊一 (ますおリーダー)
 部屋の人々と楽しく遊んでいる姿や、スキーレッスンで頑張っている姿など、子どもたちの様々な表情を見ることができ、また、子どもたちの成長スピードに改めて驚きました。キャンプを通してたくさん子どもたちとふれ合え、とても楽しかったです。



嶋崎 恭子 (ハードルリーダー)
 一人一人がいろんなハッピーを見つけてくれたキャンプだったと思います。スキーは思い切り楽しみながら練習し、みんなどんどん上手になっていくのでびっくりしました。互いの長所短所も認め合っていて最高の時間だったと思います。



濱塚 直樹 (おいなりリーダー)
 ハッピーは、友だちや周りの人のおかげなんだと気付けた4日間でした。



種市 祥子 (とうふリーダー)
 天気にも恵まれ、とても良い環境でスキーすることができました。久々に会う子、はじめましての子、いろんな子どもたちと出会えてとても楽しかったです！



阿久津 理彩 (あさりリーダー)
 スキーキャンプでは1日中スキーをして、夜もたくさん遊んで、楽しいことが盛りだくさんの「ハッピー」な4日間でした。子どもたちもリーダーたちも各々良い所があってみんな素敵だなと感じたキャンプでした。



盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 1月報告書

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。1月もあっという間に過ぎようとしております。そして震災から4年を迎えようとしております。少しずつ変わりゆく町並みもまだまだ先が見えないトンネルの中のような気がします。仮設で暮される方々にとってはいつになったらトンネルを抜け出せるのかという不安の中で日々の生活を送られているのかと思うと心が痛みます。YMCAの活動を通し、少しでもその心の痛みが取り除けられるように、寄り添いながらプログラムを進めていきたいと思っております。

さて、1月6日(火)～8日(木)で実施いたしました2014年度田沢湖スキーキャンプも無事に終わることが出来ました。40名の子どもたちと、名古屋Y、広島Y、盛

岡Yのリーダーたち、そして地元高校生がお手伝いしてくれていつもとまた変わったキャンプを送ることが出来ました。皆さんの協力なくして宮古のプログラムは進みません。本当にありがとうございます。

寒さが一段と厳しくなる季節ではありますが、寒さに負けず宮古での活動に精進しながら頑張っています。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。冬は必ず春となる。暗闇から一筋の光が見えるまで共に突き進みましょう。

宮古ボランティアセンターセンター長 齋藤 勉



宮古での活動実績	
(12月末日のべ人数)	
☆受益者数	84, 352人
☆ボランティア数	33, 144人



↑ 不安を抱えながらも元気に集まった子どもたち！
 楽しみはこれからです！！



雪降る中でも元気にたくましく練習する子どもたち！
 ← 3日間雪降る中でのレッスンとなりました。



みんな最高！そしてありがとうございます！
 ← また、来年もおおうね！

宮古スキーキャンプを終えて!

宮古ボランティアセンターのスキーキャンプに参加してくれた高校生リーダーと子どもから、それぞれ感想を頂きました♪

「スキーキャンプに参加してみた」

今回、私はスキーキャンプに参加しました。まず一目的のキャンプは、宮古市の高校生15名と八幡平でリーダーのキャンプを行いました。そこで学んだことは、スキーは自分が思っているよりずっと難しいものなんだということが分かりました。リーダーキャンプが終わり、その後、自分がリーダーとなり、色々な県から集まったリーダーと一緒に、宮古市の小学生を対象としたキャンプを行いました。そこで学んだことは、リーダーシップを切って行動することはこれからの人生や社会に出てから大切なんだということ、小学生は自分たち以上に楽しんでいたのでとても嬉しく思いました。次は2月に活動があるのでそれにも参加しようと思います。高校でしか味わえない楽しさをこの3年間で十分に味わいたいと思います。

宮古商業高校1年 山崎 直人

「スキーキャンプに参加して」

毎年楽しみでしようがないYMCAのスキーキャンプに今年も参加できることができた。冬休みに入って早く行きたいなあ天気予報とにらめっこしていた。楽しみなのはいいけれど何より準備が大変。体が大きくなってきている私たちのために父と母がスキーの調整、スキーウェアのサイズを確認してくれている。これを3人分。そう、今年は姉妹3人そろっての参加だった。キャンプ当日の朝、知っている友達いるかなあ…。友達くれるかなあ…。リーダーはだれかなあ…。と不安がいっぱいだった。駅に行ってみると、知っている顔も知らない顔もあったけど、ゴリナリーダーとポテトリーダーが「久しぶり!元気だった?」と声をかけてくれて、不安なんかどこへやら。「行ってきます」と母に手を振ったら、母の笑顔が見えて嬉しかった。

バスの中は毎年恒例のゲームやおしゃべりで大盛り上がり。寝られる状態ではなかった。田沢湖スキー場でいつもの宿に着いたらなんだかホッとした。一面真っ白の雪を見て「早く滑りたい」と心の中でさげんだ。雪が降る中でのスキーレッスン。三日間で上達すると心に決めた。夜はナイトプログラム。これも楽しい。新しく友達もできて倍楽しくなった。二日目はスキーキャンプに参加で初の猛吹雪。リフトも止まったけど、どうにか再開。寒かった。三日目は朝からのどが痛く頭痛い。でも最終日、休むわけにはいかなないと滑ってはみたものの昼食ごろにさらに悪化して、リーダーたちに迷惑をかけた。帰りの橋鼻の中はほとんど記憶がなく、いつの間にか寝ていた。リーダーのみなさんご迷惑とご心配をおかけしました。

今年は雪も多くて、天気も良くなかったし、体調も崩したけど、最高に楽しい三日間だった。スキーがますます大好きになった。YMCAのみなさんありがとうございました。来年も行けることを願っています。

宮古小学校5年 平井 椰子(ひらい やこ)

☆リーダーおすすめBOOK☆

リーダーたちのおすすめの本を紹介していくこちらのコーナー、今回の担当はしゅちほこリーダーです。

これから毎月、盛岡YMCAに集うリーダーのおすすめの本を紹介していきます!



岩手大学教育学部1年の篠原千絵子です。リーダー名はしゅちほこです。私のおすすめの本は「獣の奏者」という本です。上橋菜穂子さんのファンタジー小説でアニメ化もした作品です。「リョザ神王国」と呼ばれる異世界の地を舞台に、主人公のエリンという少女が運命に翻弄されながら人と獣の関わり、あり方を必死に追い求めていく物語となっています。ファンタジーということで現実離れた物語を想像する方も多いと思いますが、エリンという1人の女性の生涯を描く様は本当にその人物が実在し、そして女性として母親として生きたのだと思わせるものです。また、この物語に出てくる決して人に馴れぬ孤高の獣「王獣」とエリンの関わりを通して本来の動物の幸せとは何か?人と動物はどのように共存していくべきなのか?ということを考えさせられます。そしてこの物語のもう一つの魅力は親の子に対する惜しみない愛情を動物と人間の両視点から描き、「命の大切さ」というのが動物も人間も変わらないことを教えてくれているところです。どんな思いをもって親がここまで育ててくれたのかというのがこの本を読む中で理解できたと思っています。ぜひ親子と読んでほしい作品です。小説では難しいと思われる方でも、アニメや漫画にもなっているのでぜひ読んでみてください。

2月の予定

★2月8日(日)

2月サンデースクール

「お弁当まじっく♪」

(於:おでって5階 生活アトリエ)

★2月8日(日)

2月森のようちえん

「ゆきとあそぼう♪

なかよしキッズ☆」

(於:小岩井農場)

★2月21日(土)~22日(日)

2月アドベンチャー

「スキー&雪まつり」

(於:田沢湖県営スキー場)

表紙の写真から



2014年12月26日から12月29日にわたって行われたエンジョイ・ジュニアスキーキャンプでの一枚です!

子どもたちもリーダーも、2014年最後のスキーをめいっぱい楽しみました。



君でいいんだよ

~JUST THE WAY "YOU" ARE~

「出会うこと・気づくこと」



縦の糸はあなた
横の糸は私
織りなす布
はいつか誰かを
暖めうるかも
しれない♪

中島みゆきの
「糸」いいです
ね。多くのア
ーティストがCD

やライブでカバーしている名曲です。

YMCAもまた、世界中で実に様々な人たちが出会い、その出会いの中で様々な価値を織りなしている場だと思います。盛岡YMCAはサッカー、水泳、学童保育、キャンプなどの活動を行っていますが、こうした活動は、学生リーダーの活動を抜きにしては、語ることはできません。それだけ盛岡YMCAにおいて学生リーダーの存在は大きなものなのです。普段は、子ども達から「お玉」「ぶー」「ゴリナ」「Gパン」などとあだ名で呼ばれ、親しまれているリーダーたちも、YMCAに集うまでは別々の場所でもるでお互いの存在を知ることなく暮らしてきました。それが、ひよんなきっかけからYMCAに集うようになるのです。

そんな彼らが10人集えば10通りの考えが出てきます。20年近く生きてると若くても彼らは自分自身の中に、それぞれの歴史や、価値観をしつ

かり持っているのです。ですから、それぞれの意見や考えは、全員が100%一致することはありません。例えばひとつのキャンプを準備するにしてもすんなりまとまるワケがないのです。実際のミーティングの場面を見聞きすると、みんなが沈黙していたたまれなくなるような雰囲気の時も多々あるようです。

私たちYMCAは「出会い」と「気づき」をととても大切にします。しかし、この「気づき」とは、自らが「傷つく」こと無くしては得られない価値だと私は思うのです。「子どもたちに対してつかうことになってきつい言葉を発してしまっただ。」「あのリーダーはあんなに上手に子ども達をまとめることができるのに、自分はできない。」などなど。様々な理由で若者たちは、傷ついていきます。でも、実はそうした一連の体験の中で自分自身を見つめ直し、他者との関係性の中からもう一度自己を再構築する作業を彼らは自分の中の深いところで知らずに行っているように思えるのです。

表面的にはお互いが傷つき合わないような微妙な距離感を保ちつつ、ちょっとその距離感から逸脱すると「KY」とされる堂々巡りの人間関係から一歩踏み込んで、人格と人格がぶつかり、気まづい関係を何度も経験し、他者の言葉に耳を傾ける努力をし、理解しようと苦しんだ若者たちだからこそ、「君でいいんだよ。」というメッセージをYMCAの活動に関する子ども達に発信していけるのだと思います。

盛岡YMCA総主事 濱塚有史